



実り多き新人戦 ～新人戦団体優勝4つ～

新人戦が9月26日(土)から10月4日(日)まで2週間にわたって行われました。団体での優勝は、昨年より1種目多く、サッカー部、バレー部、卓球部女子、剣道部女子の4種目でした。卓球部女子は3年連続、剣道部女子の優勝は平成20年以來7年ぶり、バレー部は4年ぶり、サッカー部は2年ぶりの優勝となりました。

卓球部女子の3連覇はたいしたものですが。特に今年は、フットワークなど基本からレベルアップをしたそうです。日頃からのたゆまぬ努力が実を結んだといえるでしょう。

また、サッカー部、バレー部の試合ぶりも見事でした。サッカー部は1年生の先発メンバーも多数いてチーム内の競争も激しく、選手層の厚さを感じました。バレー部はぶっちぎりの優勝で、1セットも落とさず、しかも1セットでの失点は17点以下という安定ぶりでした。サーブがとても良く2人のアタッカーの存在も大きく、今後、市外の有力校に勝てるチームに育ってほしいなと感じました。

個人戦では、卓球部女子がBEST4に3人、剣道部女子が2人入る健闘ぶりでした。しかし、どちらも優勝は逃してしまいました。あと一步の頑張りができるよう今後も練習に励み、夏に備えていきましょう。

本校での過去5年間における優勝、2位を右にまとめてみました。そろそろ優勝がほしいなという部活動もあります。1年生は「来年こそは」と気持ちを高めていきましょう。

新人戦過去5年の記録

年度	優勝	2位
H27	サッカー バレー 卓球女 剣道女	なし
H26	野球 卓球男 卓球女	バスケット男 バスケット女 剣道男
H25	ソフトボール サッカー ソフトテニス女 卓球女 バスケット女	なし
H24	剣道男 卓球男	野球 サッカー バレー バスケット女 ソフトテニス女
H23	ソフトボール バレー	サッカー バスケット男 卓球女 剣道男

<新人戦の主な成績>

- ★サッカー 優勝
準決勝 ○1-0 対中央中
決勝 ○5-0 対新川中
- ★ソフトテニス男
●対高南中、●対碧南中、●対中央中
<個人> 3位 山岡・木村ペア
- ★ソフトテニス女 団体戦 3位
○対中央中、○対西端中、●対新川中
- ★卓球男 団体戦 3位
●1-3 対西端中、○3-2 対新川中
●2-3 対碧南中、○3-2 対中央中
- ★卓球女 団体戦 優勝
○3-1 対西端中、○3-1 対碧南中
○3-1 対新川中、○3-2 対中央中
<個人> 2位 園田 愛美
3位 秋月美佑、中西 桃子
- ★バスケットボール男 3位
●30-43 対西端中、○89-41 対中央中
○57-23 対碧南中、●40-58 対新川中
- ★バスケットボール女 3位
○53-29 対中央中、○54-23 対西端中
●22-24 対碧南中、●30-59 対新川中

- ★野球
●対碧南中
- ★ソフトボール
●対碧南中、●対高浜中、●対高南中
- ★剣道男
○2-1 対中央中、●0-1 対碧南中
●0-5 対西端中、●0-4 対新川中
- ★剣道女 団体戦 優勝
○4-0 対西端中、○5-0 対中央中
○2-0 対碧南中
<個人> 2位 杉美咲
3位 平澤友姫
- ★バレーボール女 優勝
○2-0 対西端中、○2-0 対中央中
○2-0 対碧南中、○2-0 対新川中
- ★水泳 個人 優勝のみ
大無田翼 50m 背泳ぎ
秋山希純 100m 平泳ぎ
山田拓実 200m 自由形
神谷香穂 50m バタフライ
中川結衣 50m 平泳ぎ
100m 平泳ぎ

学校評価・自由記述のご意見についてお答えします ～回答及び取り組み～

前回（第10号）に引き続き、回答を掲載します。東北のいじめ自殺事件などを受けて、本校でのいじめ対策について、具体的に教えてほしいという意見をいくつかいただきました。今回は、それらを中心にお答えします。

1 いじめ対策について、東中はどのような取り組みをしているか公開してほしい。

⇒ 東中いじめ防止基本方針を作成し、それに準じていじめ防止に努めています。基本方針については、ホームページで公開していますので、詳細についてはそれをご覧ください。

<早期発見のための取り組み>

①メンタルアンケート（いじめアンケートを含む）

メンタルアンケートを学期に1回行っています。アンケート実施後、担任との二者懇談を行い、具体的な事実の把握に努めています。

②いじめ相談を行う体制整備

- ・養護教諭によるチャンス相談（保健室で随時）
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングとメンタルケア（毎週火曜日）

これらについて、相談内容によって担任や学年主任等に報告し早期対応を図ります。

<いじめ防止対策組織>

①いじめ不登校対策委員会（校内組織） 週1回の情報交換会

教頭、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、各学年担当、スクールカウンセラー、心の教室相談員で構成

②定例生徒指導連絡会（校内組織） 週1回の情報交換会（生徒指導上の問題）

校長、生徒指導主事、養護教諭、各学年担当で構成

③東中校区連絡会（校外との連携組織） 年2回

学校関係者（職員、PTA正副会長）、地区正幹事、保護司、人権擁護委員、民生児童委員、青少年育成推進委員、小学校教頭で構成

<今年度の様子>

今年はメンタルアンケートを6月末～7月始めにかけて行いました。その中で「いやがらせをされた」「悪口を言われた」と記述した生徒は26件ありました。その詳細や実態について、二者懇談の中で確認しました。関係者から事情を確認してみると、これまでの学校生活の中で担任が把握して指導済みのものも多くありました。また、互いの言い合いで、立場が悪くなって「いじめられた」と主張するものが大半でしたが、一方的に繰り返して嫌がらせをする事例が1件あり、指導しました。

2 生徒間で問題が起こった時、先生ではなく、生徒の仲間同士による問題解決を。

⇒ 大賛成です。しかし、生徒の現状の様子を見ていると、自分の意見をうまく相手に伝えられない、コミュニケーションがとれないといった傾向が多くの子に見られます。だから、何か気まずくなった時に直接会話して解決を図ろうとせずに、逃げてしまっただけで解決につながらないといったことが多く見られます。そんなときに、想像がどんどん膨らんで「無視された」「悪口を言われている気がする」と言った思い込みにつながってしまいます。

そこで、学校では、できる限り最終的には本人同士が顔をあわせて話す機会を作るようにしています。そして、きちんとしたコミュニケーション能力を育てていきたいと考えています。社会に出てからきちんとした対人関係が構築できるよう、ご協力をお願いします。